

特 集

15周年記念事業の一環として 座談会を開催

日時 平成 25 年 10 月 28 日午後 1 時より
会場 もち月
出席者 伊山、野崎、永田、影山、小野(忠)、鷺山 (昭)、橘、小林、田辺、真壁
後日談 瀬川
司会 永田
写真 影山
記録 真壁 (敬称略)

ま え が き

平成 26 年 1 月、大田区パソコン同好会は結成 15 周年を迎えました。
記念事業実行委員会を結成して、その記念事業の準備を進めています。
広報担当一同は、協力の一環として、15 周年記念大会に合わせてクリック 16 号
を発行し、記念品の一部として配布することにいたしました。
その趣旨に沿って、過去 15 年の実績を振り返り、現在の会の実情を確認し、未来
への展望を開こうと座談会を開催いたしました。その記録を記載いたします。

■はじめに

永田 本日は座談会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。
全会員に、この座談会に出席していただきますように案内を出したのですが、なかなか自分から発言しようという人が少ない中に、これだけの方々に出席していただきまして私からも厚く御礼申し上げます。
突然の事ですが、藤本編集長の身近なご

親戚に不幸がありまして、急に欠席されることになり、私が司会を務めることになりました。

ご協力のほどよろしく願いいたします。
今日は、皆様の忌憚りの無いご発言なりご意見なりをいただき、それを今後の活動に少しでも反映させていければ、最終的には大きな前進になると思います。

しかしあまり堅苦しく考えないで、屈託の無いご意見をお願いしたいと思います。

■クリックあれこれ

鷺山 今日、大田区パソコン同好会のホームページと、OPCクリック会報No. 15号に一通り眼を通して見ました。

その中でクリックに入っているデータといますか、そういうものをホームページにも反映させて、「私たちの例会活動」に入れたら如何かと考えます。

例えばですね、初級インターネットビギナー向け欄では目標とか実績。

E-mailの学習状況。

デジカメとビデオ例会の歩み。

画像例会の今後の方針。

ワード&エクセルの学習例会

なんでも相談の紹介。などですね。

クリックというのは会員の限定されたメンバーしか配られていないわけですよ。

なるべくホームページ内においてもそういう記事を入れて、一般の皆様にも広く情報として出せたら良いのではないかと思います。

影山 今クリックについては、15号がホームページに載っているのはご存知ですか？

鷺山 知っています。

影山 だからそれは、クリックを持っていない人はそれを見ていただければ良いわけですよ。

真壁 鷺山さんの意見を生かすには、ホームページのトップに「例会活動」と

いう項目がありますが、その内容を一新して、そこにクリックの中の例会活動の記事にアクセスできるようにする必要がありますのではないか。

永田 ホームページの開き方を教えないと開けない人も沢山いることが問題ですよ。

影山さんがホームページのバージョンアップとして、「クリック」をアップロードしていただいたわけですが、それが会員全体に反映されていないのが現状であろうかと思えます。

影山 そういうこともあるから、今後のクリックをホームページに載せるか、運営委員会で協議していただきたいと思っています。

1号からすべて電子化する必要があるという意見もあります。

本からスキャナで採って電子化することは可能であると渡邊一男さんは言っておられます。

特集



(15年の歴史を語るクリック15冊)

永田 『なんでも相談』瀬川さん他の方々に、原稿を依頼しましたけれども、24日の締め切りにはまだまだ足りない

ので、次の締め切りにはどれだけ集まるか、何人かは書く約束になっていますので、50ページ以上になると思います。

■デジカメ撮影会の足踏み

影山 私は撮影会を一生懸命にやってきました。方向音痴なものですから、何も事故なくやるために下見をして、歩く時間がどれだけかかるか、どこで食事をするかとか、調査してから実施してきました。

ところが、デジカメの撮影会はパソコンの趣旨に反するとか意見がありましたので、足踏み状態になっています。

今後如何したらよいかと迷っています。

永田 僕は、撮影会がパソコンの趣旨に反するなどと言うのはとんでもないと思います。

昔はパソコンの技術を学ぶことが主流の時代がありましたけれども、今では時代が違いますから是非これからもやってください。

影山 今までは私一人で企画し、独断でやってきましたが、これからは誰か他の人にやってもらいたいと思っています。それから動画例会は、今は渡邊さんに頼っています。

中学のパソコン室の使用について、問題が起きたので問い合わせたところ、パソコンは持ち込んではいけないことが明らかになりました。

また、学校設備のXPはもう各個人のパ

ソコンには適応しませんので、XPで勉強しても意味が無いと思います。

12月は教室使用の予約をしてありますが、それ以降は蓮沼中学を会場にすることはやめたほうが良いと思います。

(食事休憩)

真壁 今回の座談会は、15周年記念誌として、そのメインを飾る記事にしなればいけないものですから、出来れば伊山さんをはじめ古くからの会員の方々に、今までの15年の歴史を振り返って、新しい人たちに語りかけるような気持ちでお話いただければ大変嬉しく思います。読んで楽しいようなエピソードなどを交えてお話いただければよい記事になると思います。

永田 はいわかりました。

では、伊山さんからお願いします。

特集

15年の思い出

伊山 今出席の顔ぶれを見ますと、スタート以来の顔は私一人です。

何ヶ月か後れて野崎さんです。

その他の方々は数年の開きがあります。それで、古い人よりは比較的新しい人たちの意見を取り入れてやるべきだと思います。

ちょっと話は跳びますが、先日、動画連盟の映像を見ていて感じましたが、あれはまだ歴史が浅いです。だから皆が張り切っている印象を受けました。

ところがわれわれの会は、15年も経ちますと、古い人は草臥れてきて、あまり中心的に働くような意欲もなくなり、つくづく新しくしなければだめだなーと思います。

そういう意味でこれからはもっともっと中間的な人が新しい発想でやっていけばもうちょっと別な展開が出来ると思います。

だからあまり古いものにこだわる必要は無いのではないかと思います。

真壁 そうは言いますが、15年の歴史があって記念誌を出すわけですから、その歴史を無視して将来の事ばかりを話したって記念誌の意味が無いわけですから、是非その歴史についてお話をさせていただきたいと思います。

田辺 その通りと思います。骨組みとしては、過去と現在と未来という形ですね。

過去があって現在があって初めて未来への展望が開けてくるわけですね。

伊山 スタートは26人くらいだったと思います。最初は30人くらいの予定でしたが、いろいろな理由から結局26人になりました。

極端に言うと26人全員がやる気があった。そういう違いがありました。

運営にしてもスムーズに、どんどん前向きにことが運びました。

その時はまだまだ色々な遊び方が少なかったもので、新鮮な気持ちで取り組めたのですが、今はあれもやるこれもやるとい

うようになってきましたので、それをわきまえていかなければなりません。

ですから年数の新しい人の新鮮な気持ちで活動を活発に進めていただきたいと思います。

永田 ありがとうございます。つぎに野崎さんお願いします。

あまり堅苦しく考えずに、あんなことがありましたよ、そして問題を乗り越えてきましたよと気軽に話していただきたいと思います。

野崎 発足した年の11月に入会しました。

パソコンは訓練校へ行っはじめました。今と違って一太郎で、フロッピーデスクでなければ入らない時代ですから、果たして会に入って出来るのかどうか、考え考えて、やっと入る決心をしました。

その時は教わるばかりだったから、教えることなどにはあまり積極的では無かったですね。

ただ、だらだらとついてきて現在に至ったわけです。

■会発足の頃

永田 最初の頃は個人の部屋を借りてやっていたということがあったようですね。まあその頃はパソコンの普及も始まったばかりの頃ですから今とは事情が違ってしまいましたでしょうね。

パソコンはこの10年くらいでパーッと

特集

普及してきましたから、やはり苦労も大きかったらと思います。

その苦労を乗り越えて今日まで続けてこられたから、現在があるわけですからね。

伊山 最初生活センターの一番広い部屋を月一回借りて、そこで全体の例会を行いました。

最初発会の時に、話をざっと決めて、あなたは何をやる？あなた何を教えてくれる？とあてずっぽうにお願いしていったら、ほぼはまりましてね、うまい具合に例会のようなものがいくつか出来ました。それを月一回生活センターで全体の報告会を行ったわけです。

■八十代からの挑戦！

瀬川談（後日伺いました。）

僕はパソコンより前に、ビデオを20年間もやっていました。

近畿ツーリストの宣伝なんかもやっています、近畿ツーリストの本社の中には瀬川コーナーがあって、私が撮影したビデオをいつでも観られるようになっていました。

しかし、ビデオは編集すると画質が劣化します。

そこでパソコンを使って劣化しない画面を作ろうと思い、先生についてパソコンを学びました。

一度に2時間びっしり教えてくれます。ところが初心者は、2時間もべらべらとしゃべられても理解できないです。

自信を失って諦めかけた時に、ビデオの仲間から大田区パソコン同好会のことを聞いて早速入会しました。

80歳を過ぎてからの事です。

ここでは程度が似たような者ばかりでしたから、このくらいだったら出来るなと思いました。

とても良い雰囲気でした。

皆さんとても親切にしてくれました。

家に帰ってからやっても、ちょっとした分からないことがあります。

それを一つひとつやっているうちに、いつの間にか分かるようになってきました。こらぼサロンができて数ヶ月後に「セブン研究会」を立ち上げました。

それが「手直し塾」になり、5～6年前からですか、いつの間にか「なんでも相談」を担当するようになりました。

永田 瀬川さんは、質問を受けると、そこで分からない問題は持ち帰って、徹底的に調べて、次の時に回答を持ってくることをやったんですよ。

瀬川 そうですね。分からないことは必死になって勉強しました。

朝から晩までパソコン漬け、84～5歳の頃ですか、ほんとに良く勉強しました。そんなわけで、たいていの事は分かるようになって、人にも教えられるようになりました。

教えることによって覚えることが出来ましたね。

年を取ってから自分ひとりで生きていると気持ちも沈んでしまいがちですが、人と関

特集

わっていると、これが生きがいになりまして、自分が人のためにしてあげるより、自分に帰ってくるものの方が大きくなります。

一つでも覚えてもらおうと、教えるほうが嬉しくなります。

永田 ありがとうございます。

鷺山さんは時間が無いので中座されるようですからお伺いしますが、鷺山さんが入会されてから何年になりますでしょうか？

鷺山 3年になります。

私の場合はパソコンに手を触れたのが3年前です。

それまではパソコンには何も関心が無かったのですが、女房がやっていたものですから誘われて入りました。

全く関係の無いところから入りましたので、パソコンの言葉は分からないことばかりですよ。

永田 鷺山さんの進歩は素晴らしいですよ。

鷺山 もう少しで85歳になります。ですから備忘録に書いておかないとすぐ忘れてしまいます。

それを読み直さないと分からないということが多くなりましたね。

インターネットで調べることも多いですが、調べて分かることは少ないですから、結局「なんでも相談」へ行って教えていただきます。それで何回も行っていると今度は教える側になりましてやっています。

田辺 鷺山さんはすごく熱心で、感心していますよ。

永田 次は小野（忠）さん。

■厳しい指導を受けて

小野 私は鷺山さんと違い物覚えが悪いのですが、入会した頃の思い出をお話したいと思います。

今はやめられた先輩の指導が一つ印象に残っていますけれども、非常に厳しかったです。

われわれの会は初心者が入る会で、ワードの会を立ち上げました。

まずパソコンを打てなければ話にならないから、(あいうえお)から(いろはにほへと)など毎日打ってメールを送りなさいという宿題を出されました。

私はそのスタッフのアドレスが正しく打てなかったものですから、いくら送信しても届きませんでした。

だから怠けていると思われて睨らまれてしまいました。

その後新聞記事などを丸写しでもいいから打ち込んで送られた思い出がありません。

あの頃の方たちは、今ではほとんどいなくなってしまうました。

その時に教わった中で、記憶にある思い出は、やたらに返信でメールをするということがあります。

私も失敗したことがありまして、一人に個人的なことをメールしたつもりが、全

部の人に廻ってしまって、赤恥を書いたことがありまして、それからはOPCメールでは返信しないようにしています。今でもその時の教えを忠実に守っています。

今は教える人が少なくなって、習おうとする人だけが増えています。

われわれの年代だと習ったこともすぐ忘れてくるし、備忘録をつけても整理しないと、どこになにが書いてあるかも分からなくなります。

だから、「なんでも相談」でも、繰り返して練習することが重要になってくると思います。

最初に入った時には厳しく指導することも大切だろうと思います。

色々例会がありますが、デジカメの例会を金井さんとで立ち上げようとしたところ、古い人から、あんなものはパソコンではないと言われ、運営委員会では一度その例会はつぶすことに決まりました。

ところが女性会員たちは、写真は撮るのだけれども整理が出来ない人が多い。

それを編集するのが勉強になるのではないかと、私と金井さんとで立ち上げたのがデジカメの会でした。

昔の鷲山さんがビデオをやっていましたが、その時には撮影した30分とかの長いものを見せるだけの会でした。

それを金井さんがビデオとデジカメを一緒にしてくれました。

今は影山さんが熱心に続けてくださって、

ファンがいっぱいいます。

影山さんの努力には、頭の下がる思いがしまして、いつも後押しのメールを出しています。あれは決して遊びではないです。あれは素晴らしいOPCの名物にしてもいいですね。

つまり勉強もいいですけども、仲間とのコミュニケーションだとか、友好だとか仲間が出来ることは素晴らしいことですよ。

例会の帰りにお茶をしておしゃべりするよりも、撮影会に参加して一日おしゃべりするほうがよほど意義のあることです。だからあれはOPCの看板にしてもいいと私はいつも思っています。

あそこで撮ったものをパソコン上で編集したりアレンジしたりすれば画像に繋がってくるわけで、いくらでも発展させることが出来るわけです。

ご苦勞をお掛けしますが、今後も撮影会を続けていただきたいと思います。

下見などはやめてもいいと思います。子どもじゃないですから、ぶっつけ本番でもいいと思います。

■先生のサブと講習会

永田 私は入って7年か8年になると思いますが、定年退職後2年ぐらいは会社に残っていましたが、人を首にして自分だけ残るわけにはいかんで辞めまして、ふらふらしている時に瀬川さんに誘われて入りました。

特集

私が入った頃には地域貢献に非常に力を入れていました。

女塚小学校に行って先生のサブをやるなどもしていました。

私は最初教わるばかりでした。

この会は、教える会ではないとも言われましたが、誰でも最初は教わるのが目的になりますね。

女塚小学校にも何回か行きましたね。

小学校を2～3校行って、先生から喜ばれて食事をして記念撮影をしました。

私はその頃まだ教わるほうでしたが、こんな柄ですから、いいチャンスだと思って教える側になって自信になりました。

最初はびくびくものでした。

それから2年位前になりますかね、私は影山さんや藤田さんに頼んで、社会教育課の主催のOPCのようなリーダーを集めて、チラシの作り方の講習会をやりました。

■ペイント例会

橘 私がこの席に呼ばれたのは何のためかなと思います、水彩画という講座をね、開催してもらいたいからここに呼ばれたのかなと思ったりしています。水彩画というのはソフトがないとだめですね。そのソフトも結構高いですよ。そして皆様にソフトやタブレットを買っていただいて例会を立ち上げようとする、そこまでしてやりたくないと思う人が沢山いると思いますね。

それに、私は人に教えるというような技量は無いですよ。

みんなで一緒に勉強してゆくというのでしたら、ペイントでいいと思います。

ペイントの本を買ってやってみましたが、結構描けますよ。

充分年賀状くらい出来ます。

最初はペイントで入っていただいた方が良くと思います。

そこからもっとやりたくなった人は、ソフトを買ってやっていただければ良いと思います。

永田 是非そのようにやってください。

田辺 私は一昨年の暮れに入ったばかりでまだまだですよ。

私は個人的な雑用が多いものですから、鷺山さんのように時間が取れません。

だから、つい浅くなって、進歩が遅いですね。ゆっくりやれば良いと思っていますね。

ただ山川さんの「初級者コース」や「なんでも相談」が参考になっています。

私はこの会に来て皆さんと楽しく過ごせるのがいい会だと感謝しています。

私はパソコンの達人になろうとかそういう気持ちが無いからいけないですね。

橘 今私が凝っているのは、ニッポンの里山とか、テレビでやっていますでしょう。ああいう所の画面にすごくいい画面が出ています。それをデジカメに撮れるんですよ。そうするとどこかへ出かけて撮らなくとも、良い写真がいくらでも手に入ります。

特集

これを絵にしたい材料というフォルダーを作って溜めればいいですよ。

小林 私も橘さんと同じで、何でここに呼ばれたのかなと思います。

田辺さんとは半年くらいしか変わらないです。

はじめ、こらぼで、コーヒーが出たりお茶が出たり楽しくやれて喜んでいました。今度会計という役目をいただいて振り返ってみれば不心得でした。

年4000円の会費を払えば、自分の都合の良い時にだけ行けばいいと簡単な気持ちで気楽でした。

いざ中に入ってみると、これは大変だなということをつくづく実感しています。これから少しでもお役に立てればと思っています。

橘さんのペイント例会に出ましたが、家に帰ってエイトでやってみると、全然違います。

影山さんがおっしゃるように、是非今後は蓮沼中学を止めるなら止めて、新しい会場で、自分のパソコンを持って行って教えていただけるような会にしたいだけだとありがたいなと思います。

永田 そうですね。影山さんが言うようにアプリコとかこれから使える会場を検討しなければなりませんね。

真壁 私は今改善しなければならぬことが2つあると思います。

1つは例会スタッフの養成・強化です。2年間例会日程表を担当して、加藤さんや檜田さん三田さんが例会を止

められ、瀬川さんが担当を縮小された穴を如何したら埋められるか、何時も困っています。

2つ目は担当者を多くの人に割り振ることです。私はまだ入会してから4年半しか経っていませんが、色々な役割をいただいています。

この会は、会員全員で関わり、育てて行くべきですから、多くの人材を登用して、担当者を幅広く分け持ことが大切だと思います

■これから試みたいこと

影山 外部講師を頼んで勉強会をする方法で、参加料を会で少し負担して、参加する人にも負担していただく講習会が出来ないものでしょうか。

皆さんで持っている力を分かち合って、教えあって活動してゆくことにはなっていますけれども、ホームページをあれだけになさった藤田さんが辞めた後、どの程度できるか心配です。

動画でも、単純な静止画のフォトムービーではなくて、今藤本さんがやっている、パワーディレクターで高度な編集が出来るものでビデオを勉強したいです。

もうちょっと高度なものを学びたいです。長年いる人はもっと進歩したいと思っていますからね。

小グループでも良いから、こういうことをやるから興味のある方は集まってくださいと呼びかけて。

特集

